

2017 くすのき

VOL.28

樟 樹

樟樹会 新居浜西高等学校同窓会

50年目の卒業式

昭和38年3月卒業 鹿野 顕一

今回の「50年目の卒業式」には、偶然

にも私（54年目）と妻（50年目）の2人で参列することができました。54年目の参列者は32名でした。式の前に卒業写真や創立70周年記念誌を改めて参照し、高校時代の記憶を新たに式に臨みました。

卒業式は終始ハイレベルの公式式典を彷彿させるような規律のある重厚な雰囲気の中で執り行われ、特に送辞及び答辞は何れも思い出話や感謝の気持ちに溢れる内容で感銘を受けました。答辞の途中

から、シヨパンの「別れの曲」が流れ、胸にじんときくるものがあり、自身の卒業式に参列しているような気持ちになったのは、私だけだったでしょうか。

賞状授与や式・祝辞を通じ、各種運動・文化部の活動も活発であることに安堵し、頼もしく感じました。私と弟は軟式テニスで、姉は体操でインターハイにそれぞれ出場していますが、時に苦しくつらい練習にも耐えたことが社会人になってからも、西高校歌にあるような「不撓の力」の礎になったように思います。

今回の卒業生を始め、続く後輩の皆さんへのアドバイスとして、他の人や社会によ

り多くの良い影響が与えられ、また目標とする、自身のあるべき・ありたい姿に向かつて粘り強く立ち向かえる人になってほしいと思います。そして100年間目に亘って、数知れない立派な人材を輩出している「新居浜西高ブランドの価値」を、さらに高めていただくことを切望します。

今回の新居浜滞在中に感じたことです。目で確認できる市街地の様子や構築物は、すっかり様変わりした中で、四国山脈の冬景色と緑色の瀬戸内バスは54年前と同じで、心を和ませてくれました。

昭和38年3月卒の同期会の近況ですが、地区同期会として、関東同期会は毎年4月に、関西同期会は複数年に1回の頻度でそれぞれ開催しております。一方、全体同期会は、直近では、今回の卒業式

に合わせ新居浜で行い、平成25年の10月には古希の祝いを兼ねて道後温泉で開催しました。私達の同期会は、開催地区に関係なく皆さんに開催案内をし、旧交を温める機会を増やす工夫をしております。

最後に、今回の卒業式に54年目の卒業生にも参列する機会を与えていただいた西高及び同窓会の関係各位に衷心よりお礼を申し上げます。

昭和42年3月卒業 山内 仁

樟樹会会長及び新居浜西高校長より案内が届いたのは平成28年12月でした。

当然のことながら、同期生の殆どが古希を迎える歳になることにある種の感慨を覚えました。50年前の1月21日には、新築されたばかりの校舎で、我々3年生のみが、ロングホームルームを行ったことを思い出しました。

卒業式当日、午前9時過ぎ、同窓会館に顔を出したところ50名を超すオールド達

が既に集まっていました。昭和38年卒と昭和42年卒の皆さまでした。畑田会長よりの注意事項の後、我々は三々五々卒業式の挙行される体育館へ向かいました。新築の校舎を通りぬけ中庭で同期の十数人が昔話をしていたので、この場所に、100周年記念事業の一環として、独自の感覚を有する記念碑が設置されることをお知らせしました。いよいよ卒業式の開始です。42年卒22名は来賓席の後方に着席しました。ブラスバンドの演奏される中、卒業生が入場し、一旦着席の後、式典が次第に則り厳かな雰囲気できりおこなわれました。個人

的には、「女子生徒が元気」、「軍隊式の号令が新鮮」、「私語が聞こえない」等参加させて頂いて良かったと思われました。生徒達が片付けを行っていた中、参加者全員での写真撮影が行われました。

その後、場所をユアーズに移し、第8回同期会を開催しました。参加者は、約半年前に第7回をしたばかりで、また、現役の方が不参加の為、34名でした。

最後に、この企画をして頂いた皆さまに心より感謝申し上げます。



新居浜西高 創立100周年記念事業期成会活動

会長あいさつ



樟樹会会長
畑田 雅敏
(昭和44年卒)

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は同窓会活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。誌面ではございますが平素の疎遠をお詫びし、厚く御礼申し上げます。

さて、2015年12月より新居浜西高創立100周年記念事業準備三者会（同窓会・PTA・教職員）がスタートし、暮れの28日には組織や周年事業・行事計画の骨子が出来上がりました。そして、昨年1月31日期成会発足式が行われ、同窓会長が期成会会長に就任いたしました。期成会組織並びに周年事業・行事計画及び予算・資金計画が決定し、県教育委員会と協議の結果、承認が下りました。あわせて国税局の免税認可も下り、昨年11月1日より募金活動を開始いたしました。卒業

生33,000名の内、住所が判明しております22,500名に創立100周年記念事業募金趣意書を送付させていただきました。本年1月末時点では、約1,000名の卒業生のご賛同をいただき、約1,000万円の募金が集まりました。

今回の事業計画は、①記念碑の設置及び中庭等の整備、②校旗の購入、③グランドピアノの購入、④記念会館の改修、⑤第2グラウンドの整備で、これに募金事務費を加えて総事業費3,000万円でございます。1,000万円の募金額ではまだまだ足りません。そこで、本年1月より本部新居浜地区の卒業生、松山樟樹会、近畿くすのき会、東日本樟樹会それぞれの卒業生の皆さんに、草の根運動による募金活動をお願いいたしました。

また、本部では募金活動に拍車をかけるため、毎月同窓会常任理事会を、また、毎月末日曜日18時から期成会常任理事会を開催し、募金活動の見直しや新しい方法を考えるなど、同窓会・期成会が全員でそれらを実行に移してまいりました。

その効果もあり、半年が経過した5月初め

には募金額も2,000万円を超えるところまでとなりました。まだまだ目標額には届きませんので卒業生の皆さんには、さらなる声かけをお願いして募金額が目標に到達するようにご協力ご支援をお願いいたします。

一方、事業実施に取り掛かるべく、かねてより計画しておりました記念碑の設置及び中庭等の整備は、記念碑及び中庭整備実行委員会が検討協議し進められ、矢原繁長氏（卒業生）による「過去と未来、思考と時間」など、個人個人が考える哲学的なテーマによる中庭と一体となった記念碑を完成すべく現在進めております。この会誌樟樹28号がお手元に届くころには完成していること存じます。

本年11月10日には記念式典が挙行され、夜には記念祝賀会（会費制）が行われます。ご寄付いただいた皆さんにご案内いたしますので、多くの卒業生でこの記念すべき100周年をお祝いしたいと存じます。

心に残る西高らしい100周年を成し遂げるべく進めておりますので、さらなる皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

生

にわたり活躍されている
するコーナーです

介

Profile

昭和55年 新居浜西高等学校普通科 卒業
昭和61年 日本大学芸術学部映画学科監督コース卒業。
東宝株式会社 演劇演出部入社。
昭和62年 主宰する劇団（平成14年よりDotoo!に改名）
を結成。
平成3年 映画「就職戦線異状なし」でシナリオライ
ターデビュー。
平成12年 日本大学芸術学部映画学科非常勤講師
映画・テレビ・ラジオ・舞台等のドラマを多数執筆、
監督としても活動中。
現在に至る



福田 卓郎

ふくだ たくろう

なりたいたいものに……

— なりたいたいものじゃなくて、なれるもの
を探し始めたらもうオトナなんですよ—
これは私のシナリオライターデビュー
作、映画『就職戦線異状なし』（1991年）
の中の台詞です。思い起こせば、私が今
のような仕事をしたいとはつきりと意識し始
めたのは高校の頃でした。

私は伊予三島市出身で、毎朝遅刻しそう
になりながら電車で高校へ通っていました。
た。わざわざ遠い西高を選んだのは、その
頃からおぼろげに考えていた自分の将来の
ためです。それはテレビ局に就職してドラ
マをつくりたいというもの。そのために少
しでもマスコミの就職に有利と言われてい
た東京の大学に行きたいと思い、西高を受
験したのです。

親は弁護士になって欲しかったようです
が、なにせ勉強が嫌いで。結局、高校でも
勉強はそつちのけで生徒会に参加したり、
中学時代からやっていた軟式テニス部に入
部してインターハイに出たりと、勉強以外
の高校生活を満喫して、見事浪人となりま
した。

浪人中に大学生の友人達の様子を見て、
経済学部に行けば経済を勉強するのだとい
う当たり前のことにはたと気づき、興味の
ない学問はやりたくないと、日大芸術学部

映画学科監督コースに入学。そしてテレビ
局に入ってもドラマ部に配属になるとは限
らないと、卒業して東宝株式会社演劇演出
部に入社。そして東宝を辞め、主宰する劇
団を旗揚げし、それがきっかけでシナリオ
ライターとしてデビューしました。

「シナリオライターってどんなことをす
るの？」とよく聞かれます。シナリオライ
ターというのは、映画やテレビのドラマの
台本を書く仕事です。自分で企画を持ち込
むときもありますが、プロデューサーから
こういう物語を書いて欲しいという要望が
来ることが大半です。主演俳優が決まっ
たり、題材が決まっていたり、原作があっ
たり、予算が厳しかったり、そんな制約の
中で物語を作っていくことになります。ミ
ステリーならもちろん犯罪のトリックも自
分で考えます。そういう時は人を殺す方法
を四六時中考えるのですから物騒な仕事で
す。プロデューサーと登場人物について携
帯電話で話している時に『あいつ邪魔です
よね、殺しちゃいますか』と言って隣にい
た人をびつくりさせた、なんてこともよく
あります。

これまで、舞台の戯曲はもちろん、映像
では『トリック2』『警部補天部謙三』『富

豪刑事』『ウルトラマンマックス』『中学生
日記』『おしりかじり虫』『赤い霊柩車』『水
戸黄門』『愛を積むひと』『仮面ライダーゴ
スト』等々、映画、連ドラから特撮まで、
そしてラジオドラマにプラネタリアム、面
白いとおもえば節操なく書いてきました。
高校時代をモデルにした本も書きました。
拙著『仰げば尊し』は自分の西高時代を投
影した戯曲です。

劇団も今年が30周年、シナリオライター
としても27年です。どちらもここまで続け
てこられたことは自分でも驚きです。その
ご褒美か、去年はあかがねミュージアムで
太鼓祭りを題材にした『よいやさのさつー！』
というお芝居を上演させていただきまし
た。今年も映像でも新居浜に関係した仕事
ができそうです。

映画やドラマを創るといふ高校時代から
憧れていた世界に飛び込んでみただけの
の、本当になりたいたいものになれたかどう
か……。ゴールはまだ遠いと感じています。
書くだけでなく、監督ももっとやりたいで
すし。そのためにも自分が心から満足でき
る作品が出来るよう、諦めず頑張つてゆく
しかないと思っています。

同窓

文化面、産業界など各界
同窓生をご紹介します

紹

観る天国やる地獄

初めて四季を観たのは小学4年生の時、母の東京出張に、旅行ついでについて行ったときでした。まだ日本で開幕したばかりだった『ライオンキング』。冒頭の曲「サークル・オブ・ライフ」で自然と号泣したのは忘れもしません。「わたしはこれに出る」つてすぐ決意しましたし、公演の休憩時間には母に「わたしは絶対劇団四季に入る！」つて言いました。

5歳からクラシックバレエは自分からやりたいと言っていて通わせてもらっていましたが、四季を観てからはバレエに対する姿勢が変わりました。自分でどうしたら四季に入れるのか調べたり、バレエでオーディションがあることを知り、それで勝負するためにバレエを頑張るようになりました。母に内緒で四季に電話したこともありました。今思ったらほんとばかだなあと思っています。

それから四季に入るまでのビジョンはわたしの中にできあがっていて、短大のバレエコース卒業の年、オーディションで受かることができました。

今年で入団して7年目です。正直自分が7年もいられると思っていませんでした。それくらい入ってからも厳しくて、試験やオーディション、演出家の稽古でたくさん同期や先輩がいなくなるのが普通で、同期はもう数えられるくらいはいりません。

バレエは入団するための課題でした。入団してからはバレエ、ジャズ、ヒップホップや日本舞踊、歌や発声レッスンを毎日あって、初めてのことはばかりで本当に大変でした。毎日終電までジャズが上手い同期に教えてもらったり、台詞を先輩に見てもらったり、残って練習しない日はほとんどなくて、初めてキャストイングしてもらった作品の稽古場では手取り足取り先輩に教えていただいて、全体が終わってからもずっと練習していたので、どうやってあの時生活していたのかあまり思い出せません。

ここに入団してから本当にたくさん尊敬する俳優の先輩や同期、先生や演出家に会い、考え方や捉え方、厳しさ・優しさを学びました。そういう人たちと仕事や舞台のこと、もちろんそれ以外のこともお互い熱く話せる時間は本当に意義で、刺激的で大好きな時間です。学べることはすべて学びたいと思っています。入団した時と今では全然考え方が違うと思います。作品もそうですが、もっとたくさん知らないものに出会って人としても俳優としても成長したいです。

この仕事は「観る天国やる地獄」と、浅利先生(※)がよくおっしゃっていました。本当にその通りで、演出家の言葉をキャッチアップして、もちろんできないければ厳しい結果になりますし、稽古場ってというのは本

当に毎日が勝負で、つらすぎて涙もたくさん流します。でもその毎日の結果が本番につながって、この日の舞台がお客様の大切な一回の観劇になるんだと、責任を持って一回・二回の舞台を踏んでいます。

四季の理念は演劇の感動を通じて生きる喜びを全国の人に届けるということ、全国の子供達を劇場に招待して演劇の感動を届ける、こころの劇場という活動もしています。ネット社会の現代に生きる子供達に生の舞台を観て少しでも何か心に残って欲しいですし、舞台を観るってということはもっと身近な存在なんだって小さい時から思っていて欲しいです。もちろん子供だけじゃなくて、舞台つてとってもいいものだよって言うってくれる人がもっと増えたらいいなって思います。私自身が与えていただいたように、そういう何かを与えられる俳優になりたいですし、歌も踊りも演技もあいつはおもしろい、この芝居にはあいつがいるつてもっともつと思われる俳優になりたいです。

今まで経験してきたことや感じたことはすべて俳優として必要なことで、本番に活きるのだと思つて生きています。観に来てくださった方が天国になるなら、どれだけでも地獄を通つて生きていきたいです。今わたしは、自分でも怖いくらい舞台の虜(こぼ)ですし、この仕事が大好きです。

※浅利慶太氏 演出家、実業家、劇団四季創

設者の一人。

(注) 編集委員会

Profile

5歳からクラシックバレエを始める
平成21年 新居浜西高等学校普通科 卒業
平成23年 昭和音楽大学短期大学部音楽科 卒業
平成23年 劇団四季研究所 入所
平成23年 『アンデルセン』で初舞台
以後 『王様の耳はロバの耳』
『オペラ座の怪人』
『ジーザス・クライスト=スーパースター (エルサレム・バージョン) (ジャポネスク・バージョン)』
『ライオンキング』
『夢から醒めた夢』
『ジョン万次郎の夢』
『ウエストサイド物語』フランススカ役を演じている



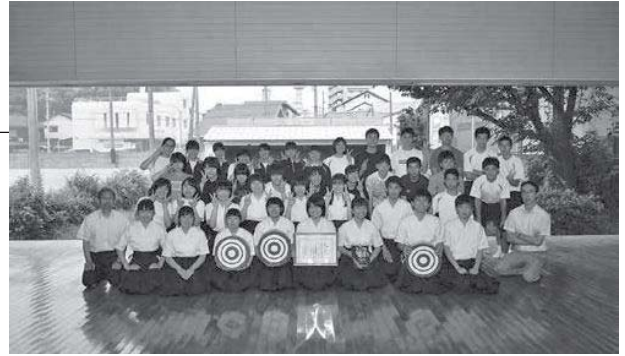
岸田 実保

きしだ みほ

の 歩 み

3年間の「弓」の「道」筋

弓道部部长 浅井 唯奈



袴姿で弓を引く様子が凛としていてカッコイイというのが皆さんの抱いている弓道の印象でしょうか。しかし、弓道の魅力はそれだけではありません。まずは、弓道についての知識や魅力についてお伝えしましょう。

弓道は、矢を射的に中てる日本の武道です。近的と遠的の2種類があり、一般的な競技は近的の28メートル、遠的は60メートルあります。黒と白の同心円が描かれているのは、近用的のです。遠用的のは得点ごとに色分けがされており、アーチェリーのように的の端から中心に向かって得点が高くなります。しかし、近的は的の端に中つても中心に中つても「的中」となり、得点が異なるということはありません。また、弓道は老若男女だれでも楽しめる武道で、高校生の競技人口は武道の中で最も多くなっています。さらに、精神力や技術だけでなく、呼吸法や礼儀作法など日常生活に活かせる要素もたくさん身に付けられます。弓を引く静かな動作から、矢を射的に中てる姿は見るものを惹きつけます。

私が弓道部に入った理由はいくつかあります。一つ目は、弓道部がある中学校は少なく、高校から弓道を始める人がほとんどなので、努力次第で好成绩を取めることも可能だと思ったからです。二つ目は、日本人として生まれたので伝統ある日本の武道を経験したいと考えたからです。三つ目は、高校時代に弓道部の主将をしていた父の存在です。父は、個人・団体ともに優秀な成績を残した選手でした。そのような父から、弓道は技術を身に付けても強い精神力がないと試合では中らないことや、弓道で身に付けたことが生活に活かされていることを学び、弓道部に入部しました。

西高弓道部について紹介します。男女混合の部活動なので大人数で活動しています。また、部員それぞれの個性が豊かで、先輩と後輩の仲も良く、居心地の良い雰囲気があります。他校に比べると練習時間は短いです。稽古の時間配分を決めて、自分自身で考えながら弓を引いたり、部員同士で指導しながら稽古に励んでいます。平成28年度には、2人の留學生が入部し、弓道を通して心の触れ合いの輪を広げることが出来ました。

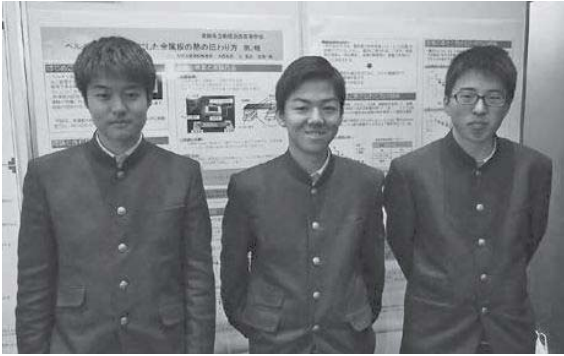


弓道部の伝統は長く、過去には県総体優勝7回（男子1回（昭和34）、女子6回（昭和32・33・34・36・40・平成8））、県選抜大会優勝1回（女子平成8）の輝かしい歴史があります。そして、平成28年度の成績は、選抜大会東予地区予選は準優勝、県選抜大会では優勝、四国大会ではベスト8という結果を残して20年ぶりに全国大会に出場することができました。このなかでも、全国大会出場の切符を勝ち取った県選抜大会は、とても印象に残っていることがあります。それは、決勝戦の後に、毎日練習に励んできた部員たちと喜びを分かち合ったことです。泣いて喜ぶ人もいれば、驚きで言葉が出ない人もいて、今まで経験したことのない晴れ晴れとした気持ちでした。名古屋市内で行われた全国大会では、13人も

の部員が応援に来てくれました。結果は予選敗退でしたが、いつものように堂々と戦うことができたので、悔いはありません。全国の舞台に立てたり、レベルの高い試合を観られたり、部員と数日間過ごしたり、とても素晴らしい経験になりました。

私は、弓道部での3年間を通して、精神力や技術を身に付けるだけでなく、部員との絆を深めることが出来ました。また、顧問の先生や部員や保護者など多くの人に支えられてきました。本当に感謝しています。弓道部の経験を今後活かして、さらに自分を成長させていきたいです。

部活動



物理部で学んだこと

物理部部长 宮浦 一馬

物理学とは、自然科学の中の一分野であり、自然界のあらゆる現象とその性質を理解し、解明することであると云えます。そして物理学の中には、物体の運動、光や音、電気と磁気、熱、天体というように様々な分野に分かれています。

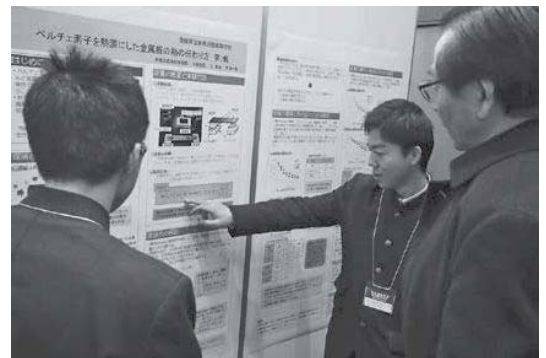
物理学を学ぶ上で、おそらく一番多く耳にするであろう言葉があります。それはエネルギーです。しかし私たちはそのエネルギーというものを見ることも感じることもできません。ただ、このエネルギーという概念の存在は、物理学を学ぶ上で非常に都合が良いのです。そしてそのエネルギーという概念を目に見えるように表してくれるのが数学です。物理学にとって数学は欠くことのできない道具であるといえるでしょう。自然現象を数式によって定量的に記述していくことで、推論を一連の計算として実行することができ、複雑なモデルを正確にかつ簡潔に表現することが可能になるのです。

ここで、このような物理学を扱う物理部の活動についていくつか紹介します。まず、普段の平日の活動ですが、主に実験を行っています。昨年は、物理学の中でも特に熱の分野についての研究を、大きく分けて2つ行いました。1つは過冷却状態を作り出す小型冷蔵庫の製作、もう1つは金

属板の熱の伝わり方に関する研究です。小型冷蔵庫の製作では、冷蔵庫の中の冷気を逃がさずに、冷蔵庫中を均等に冷やすのにもとても苦労しました。金属板の熱の伝わり方の研究のほうでは、金属板の表面の熱を正確に測定することや、熱の伝わり方を理解することに苦労したのを覚えています。

これらの難しい研究をする中で、とても役に立ったものがあります。それがえひめサイエンスリーダースキルアッププログラムです。これは愛媛大学と愛媛県教育委員会が共同で行っているプロジェクトで、高校生の科学研究の支援を行っています。僕たち西高物理部もこのプロジェクトに参加していました。このプロジェクトでは、自分たちの設定した研究テーマに沿って研究を行い、その途中経過から最終発表までを、口頭発表やポスターセッションといった形で結果の発表を行いました。その中で、他校

の生徒や愛媛大学の教授の方に、自分たちの研究の改善したところが良い点や、工夫すればいいところなどを指摘して下さったので、研究をスムーズに進ませることができ、その完成度も高まりました。他にも、僕たちは他校の生徒の研究発表を見ることもできたので、興味深い研究内容を知ることができたり、おもしろい視点



や相手に正確に内容を伝える発表方法を学ぶことができたりと、このプロジェクトは僕たちの活動に大きなプラスの影響を与えてくれました。

そして最後に、これまでに行ってきた研究の最終発表を、小型冷蔵庫の製作のほうは県高校総合文化祭で、熱の伝わり方のほうは大阪大学で行われた日本物理学会主催のジュニアセッションで行いました。高文祭では初のプロジェクトを使った発表を行い、どうやって自分たちの研究をうまく伝えるかを何度も試行錯誤しました。どちらの研究発表も今までの苦労があった分、とても心に残るものとなりました。

僕はこれまでの活動を通して、問題に直面した時にそれを解決するための道筋を立てる方法や、

研究の内容を明確に、論理的に相手に伝える方法、その難しさなど、大切な多くのことを学びました。大学に進学しても、さらにその先の人生に進んでも、ここでの経験はきつと生かされていくと信じています。

最後に、僕たちの研究の手助けをしていただいた顧問の先生、一緒に研究した2人、えひめサイエンススキルアッププログラムで関わり合った方々へ、本当にありがとうございました。新しく入部してくれた1年生にも、僕たち以上にいろいろなことに挑戦し、自分なりの大切な何かを見つけ出してほしいです。



母校の概況

Nihama-Nishi High School

樟樹100年の息吹 新たな伝統を紡ぎ出し、輝く未来へ



校長 村上 敏之

樟樹会の皆様には日頃から母校に対して絶大な御支援・御指導をいただいておりますことに對し、まずは厚く御礼申し上げます。

私は本年4月に新居浜南高校より着任いたしました。どうぞよろしく願います。

久しぶりに涼として気品ある西高生の姿を見て、懐かしさがこみ上げてきました。かつて平成2年から7年まで勤務しました。

その頃は、進学指導と野球部の指導に明け暮れる日々でした。多

忙な中にも大変充実した毎日をお過ごしことができました。西高を去ってから「あれは西高だからできたことであつた」と気付かされることも多くありました。特に、西高の教育環境は素晴らしく、教職員が生徒と一緒にあって若者の未来を語る真摯な空気にあふれており、生徒たちも主体的に学業に取り組み、更に部活動や学校行事を自主的に運営してゆく精神に貫かれていました。

それは現在も変わりません。「若き翼は高く舞い 花の蕾は花と咲け」と、校歌3番の歌詞にあるように、生徒は向上を目指してひたすら努力を重ねており、教職員は常にそのような生徒に寄り添いつつ、生徒の力が100%発揮できるようにサポートしています。

さて、本年度は全日制3学年21クラス832名、定時制は在籍79

名、全校生徒911名で始まりました。特に定時制の在籍生徒数は県下最大で、落ち着いた穏やかな環境で教育活動が進められていることもあり、地域からの信頼は年々高まっております。

全日制の昨年度の進路状況は、卒業生が238名と少ない中で、国公立大学合格者が136名と健闘し、難関大には京都大2名、大阪大4名を始め12名、医学部には3名が合格しました。しかし、往年の西高の実績を思えば寂しい感じが拭えないのも事実であります。

そこで、本年度から更に魅力あふれる進学校を目指して、2年生より新しい類型をスタートさせました。文系を人文社会類型、理系を理数医療類型と改編し、難関

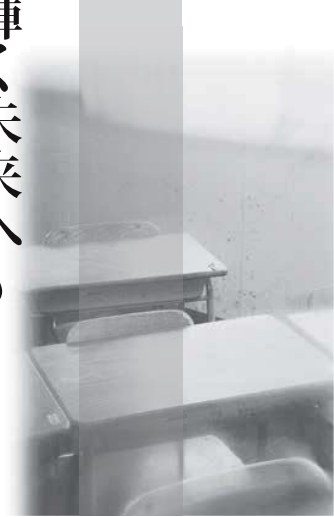
大を編成しました。特に理数医療類型では、グローバルな視点を持つつつ、難関大へチャレンジする有為な人材を育てるとともに、新居浜市からの奨学金援助の申し出を受け、郷土で医療に従事しつつ活躍できる人材の養成にも努める所存です。また、従前より設けている「総合学習『仰』」の時間を活用して、単なる大学入試合格のテクニクにのみ生徒を向かわせることなく、生徒一人ひとりの進路意識を高め、地域社会や国家に大いに貢献できる人材の育成に努めたいと考えております。

いよいよ、創立100周年の年になりました。記念テーマは「樟樹100年の息吹 新たな伝統を紡ぎ出し、輝く未来へ」と決まりました。2年生西川咲希さんの提案作品です。記念マークのデザインは美術 秦一博先生、揮

毫は書道 藤原栄二先生によるものです。竣工1年の美しい本館に高々とテーマを掲げました。創立100周年期成会の皆様を中心に募金活動も精力的に進められ、その殆どは現役の生徒たちに資するものとなります。心より感謝申し上げますと共に、来る11月10日の創立100周年記念式典並びに記念講演会(本校卒業生・星加良司先生の講演)、市民文化センターでの記念演奏会にふるって御参加くださいますようお願い申し上げます。

校歌に「不撓の力鍛えつつ 拙く未来へ羽ばたかん」と歌われているように、西高生は今日も自律生活・自主学习・自己鍛錬に励んでいます。どうぞ今後とも母校への厚い御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。

御挨拶とさせていただきます。



創立100周年記念行事

樟樹100年の息吹

5月27日(土) 記念招待試合 サッカー
(グリーンフィールド新居浜)
試合結果 本校0-6FC今治
本校2-4新居浜工業高校

5月28日(日) 記念招待試合 野球
(新居浜市宮野球場)
試合結果 本校10-6松山東高校
本校2-4高松高校

8月12日(土) 記念新調グランドピアノお披露目演奏会
(11ページ参照)

11月10日(金) 記念式典 記念講演
(平成6年卒 星加良司氏)
記念芸術鑑賞会
(平成18年卒 高橋達也氏)
同窓会主催 記念祝賀会
(リーガロイヤルホテル新居浜)

11月11日(土) 同窓会主催 記念ゴルフコンペ
(滝の宮カントリークラブ)

教職員の異動

《転入》

校長 村上 敏之 (新南)
教頭 五味 昭秀 (三島)
教頭 浅野 尚志 (松南)
国語 上甲 啓介 (伯方)
国語 香川 悦子 (新東)
地公 川村 貴昭 (新特)
地公 藤田 講平 (松山中央)

数学 甲斐 誠 (新南)
数学 小野 遼太郎 (定時制)
理科 清川 正義 (今東中等)
理科 合田 和憲 (新特)
理科 白石 千明 (西条)
英語 井上 八尋 (中萩中)
英語 藤田 利架 (新特)
英語 田沼 彩映子 (済美)
家庭 小池 千尋 (北条)
養教 青木 理枝 (新特)

《転出》

校長 佐々木 靖夫 (新特)
教頭 大西 俊一 (松山言)
教頭 藤澤 一仁 (今北)
国語 菅 伸明 (退職)
国語 津村 和芳 (退職)
地公 西原 潤二 (退職)
地公 片岡 大介 (王居)
数学 内田 宗志 (新南)
数学 藤田 和幸 (川之江)

同窓の教職員

数学 高橋 昭彦 (今西)
数学 天羽 平 (松北)
理科 菊川 大祐 (退職)
理科 内山 太 (長浜)
美術 秦 一博 (今西)
英語 池本 昌代 (新特)
英語 東 恵理子 (松東)
英語 又川 孝文 (新特)
家庭 泉田 昌美 (三崎)
養教 糸野 節子 (退職)

《氏名》(卒業年)(教科等)

塩崎 勇人 (昭和46) 地公
(再任用) 誠 (昭和50) 数学
甲斐 誠 (昭和50) 数学
五味 昭秀 (昭和53) 教頭
亀尾 千春 (昭和53) 事務
渡辺 一生 (昭和56) 数学
吉田 明正 (昭和56) 理科
武智 優子 (昭和56) 英語
藤田 利架 (昭和56) 英語
鈴木 一宏 (昭和58) 保体
日野 右子 (昭和59) 英語
塩崎 美都 (昭和63) 国語
藤澤 真美 (昭和63) 英語
小池 佳子 (平成9) 英語
倉光 久美子 (平成11) 理科
吉村 新平 (平成15) 数学
加藤 恵理 (平成15) 事務

年間行事予定

3	2	1	12	11	10	9	8	7	6	5	4	月
20	1	26	13	9	20	30	18	28	23	11	7	3
3	全日制卒業式・定時制卒業式	学年末考査(3月5日)	大学入試センター試験(3月14日)	3学期始業式	2学期始業式	2学期期末考査(12月6日)	県高校総合文化祭(19日松山市周辺)	定時制運動会	2年生修学旅行(27日)	2学期中間考査(16日)	運動会	定時制・通信制県総合体育大会
29	16	17	2	16	7	29	16	7	10	10	10	日
西高祭	県高校総合体育大会(5日松山市周辺)	1学期期末考査(7月5日)	1学期始業式	2学期始業式	定時制・通信制県総合体育大会	1学期終業式	2学期終業式	1学期終業式	PTA総会	1学期中間考査(19日)	全日制入学式・1学期始業式・定時制入学式	行事

大学合格一覧

最近3カ年の総合格者と、
大学別合格者の一部を紹介

	27年	28年	29年
国公立大	171	164	136
私立大	399	465	312

北海道大	2	0	2
東北大	0	0	0
東京大	0	1	0
名古屋大	1	0	0
京都大	1	0	2
大阪大	1	3	4
神戸大	3	6	2
岡山大	19	17	16
広島大	8	8	3
愛媛大	31	39	30
九州大	2	4	2

平成29年度愛媛県高等学校総合体育大会 結果一覧

6月3日から5日(水泳は17日・18日)にかけて、愛媛県高等学校総合体育大会が松山市を中心に開催され、本校からも**200名**の生徒が参加し、各競技で活躍した。主な結果は下記の通り。

●陸上競技部

男子
800m 村上尚平 8位
1500m 村上尚平
400mH 鎌森元吾
3000mSC 戸屋耀弘
走幅跳 齋賀忠也
三段跳 齋賀忠也

女子
1500m 西原愛華 3位
3000m 西原愛華 2位
100mH 小野 心
400mH 小野 心
5000mW 藤田実奈 5位
喜馬真衣子
4×400mR 小野・藤田・川路・喜馬

●水泳部

200m自由形 飯尾悠貴斗
八塚祐希
400m自由形 飯尾悠貴斗

●バスケットボール部

男子
1回戦 新居浜西 30-86 松山城南

女子
1回戦 新居浜西 72-56 宇和
2回戦 新居浜西 53-63 松山南 (ベスト16)

●バレーボール部

男子
1回戦 新居浜西 2-0 松山商
2回戦 新居浜西 0-2 新田 (ベスト16)

女子
1回戦 新居浜西 2-0 川之石
2回戦 新居浜西 2-0 伊予農
3回戦 新居浜西 0-2 松山東雲 (ベスト8)

●バドミントン部

男子団体
2回戦 新居浜西 3-1 伊予農
準々決勝 新居浜西 0-3 松山南 (ベスト8)

男子個人ダブルス
久保舜史・村上 諒 1回戦

男子個人シングルス
村上 諒 2回戦
久保舜史 2回戦

女子団体
2回戦 新居浜西 3-0 今治工
準々決勝 新居浜西 1-3 松山商 (ベスト8)

●卓球部

男子個人シングルス
小野峻也 2回戦

男子個人ダブルス
小野峻也・寺岡知輝 2回戦

女子団体
1回戦 新居浜西 3-1 松山西
2回戦 新居浜西 2-3 松山北 (ベスト16)

女子個人ダブルス
鳥嶋千暖・藤原沙衣 2回戦

●ソフトテニス部

男子団体
1回戦 新居浜西 1-2 伊予

女子団体
1回戦 新居浜西 3-0 八幡浜
2回戦 新居浜西 0-2 聖カタリナ

女子個人
鍋島佑花・末次亜沙美 (ベスト16) 四国大会出場
玉井日向子・鈴木詩世 1回戦
重松音緒・奈島千紘 1回戦

●ハンドボール部

1回戦 新居浜西 12-25 松山北

●サッカー部

1回戦 新居浜西 3-1 今治西
2回戦 新居浜西 1-0 松山東
準々決勝 新居浜西 0-2 新田 (ベスト8)

●剣道部

男子個人
大原拓真 1回戦

男子団体
1回戦 新居浜西 3-0 伊予
2回戦 新居浜西 0-2 済美

女子個人
宮本麻衣 1回戦

女子団体
1回戦 新居浜西 2-2 松山聖陵
2回戦 新居浜西 3-2 今治南
準々決勝 新居浜西 0-3 済美 (ベスト8)

●弓道部

男子団体 予選敗退
女子団体
予選 新居浜西 23中/40射 4位 予選通過
準決勝Aリーグ
第1試合 新居浜西 11中-9中 新居浜商
第2試合 新居浜西 12中-11中 新田
第3試合 新居浜西 15中-14中 西条
3勝0敗 決勝リーグ進出

決勝リーグ
第1試合 新居浜西 8中-13中 今治南
第2試合 新居浜西 10中-13中 宇和島東
第3試合 新居浜西 8中-15中 西条
4位 四国大会出場

女子個人 佐藤朱里 予選敗退

●登山部

男子団体 5位
女子団体 2位 四国大会出場

●ダンス部

「百鬼夜行」 6位入賞

●テニス部

男子団体
1回戦 新居浜西 2-1 新居浜東
2回戦 新居浜西 2-0 東温
3回戦 新居浜西 0-2 松山中央 (ベスト16)

男子個人シングルス
三浦健輔 1回戦

男子個人ダブルス
三浦健輔・山内謙太 1回戦
高木佑輔・高橋和輝 1回戦

女子団体
1回戦 新居浜西 2-0 大洲
2回戦 新居浜西 0-2 新田

女子個人シングルス
高橋美聡 2回戦
金子あゆ 1回戦

女子個人ダブルス
金子あゆ・高橋美聡 1回戦

●少林寺拳法

女子自由単独演武 田中沙耶加 優勝
四国大会・インターハイ出場

文化部 大会結果

●放送部

平成29年度第56回愛媛県高等学校放送コンテスト

アナウンス部門 優秀 後藤佳伶(全国大会出場)
優秀 北川瑠菜(全国大会出場)
決勝進出 永山みのり

朗読部門 最優秀 菊田裕介(全国大会出場)
優良 竹野帆香

ラジオドキュメント部門「呪われし代表委員」 監督 竹野帆香 優良
ラジオドラマ部門 「これが僕。」 監督 北川瑠菜 優秀
(全国大会出場)

テレビドキュメント部門「歴史を越えて」 監督 沼田 遥 優良
テレビドラマ部門「シュラパ de PON」 監督 後藤佳伶 最優秀
(全国大会出場)

研究発表部門 「伝えるためのメディアの特性研究」
青野夏月 入屋早紀 白石真菜

●囲碁・将棋部

第41回全国高等学校総合文化祭囲碁部門愛媛県大会
男子個人選抜戦 真鍋貴大 5位
山田英樹 8位
女子個人選抜戦 木村梨乃 6位
青山 楓 7位
伊藤綾香 9位

第41回全国高等学校総合文化祭将棋部門愛媛県大会
男子団体戦 新居浜西A：浜田涼太郎・石川弦治朗・山崎達弥 3位
新居浜西B：高橋泰真・宮崎太晟・重松敬明 ベスト8

1回戦 新居浜西A 3-0 松山南B
新居浜西B 3-0 北条B

2回戦 新居浜西A 3-0 大洲A
新居浜西B 0-3 北条B

準決勝 新居浜西A 0-3 新田A
3位決定戦 新居浜西A 3-0 松山南A 3位

男子個人戦 真鍋貴大 ベスト16
女子団体戦 伊藤綾香・高橋美羽・徳永涼乃
1回戦 新居浜西 2-1 済美
決勝 新居浜西 2-1 今治西 優勝
全国高校総合文化祭出場

女子個人戦 青山 楓 2位 全国高校総合文化祭出場

第41回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会愛媛県大会
男子個人選抜戦 真鍋貴大 5位
山田英樹 6位
真鍋弘生 9位
女子個人選抜戦 伊藤綾香 6位
青山 楓 8位
木村梨乃 10位

男子団体戦 真鍋貴大・山田英樹・真鍋弘生 3位
第1試合 新居浜西 1-2 愛光
第2試合 新居浜西 2-1 松山工A
第3試合 不戦勝

女子団体戦 青山 楓・木村梨乃・伊藤綾香 3位
第1試合 新居浜西 1-2 愛光
第2試合 新居浜西 1-2 宇和島南

新居浜の動き

会場にみんなで応援に行こう

2017 愛顔つなぐえひめ国体

君は風 いしづちを駆け 瀬戸に響え

 ウエイトリフティング <small>(全種別)</small> 10.5(木)~9(月) <small>新居浜市市民文化センター</small>	 セーリング <small>(全種別)</small> 10.1(日)~4(水) <small>新居浜マリーナ (マリンパーク新居浜)</small>	 サッカー <small>(少年男子)</small> 10.1(日)~4(水) <small>新居浜市営サッカー場 (グリーンフィールド新居浜)</small>	 軟式野球 <small>(成年男子)</small> 10.6(金)~7(土) <small>新居浜市野球場</small>
--	--	--	--

新居浜市は今年で80歳となりました

新居浜市は、昭和12年11月3日、新居浜町、金子村、高津村が合併し、新居浜市となり、その後、昭和28年に垣生、神郷、多喜浜、大島の4か村が、同30年に船木、泉川、中萩、大生院の4か町村、同34年には角野町と合併し、さらには平成15年に平成の大合併の県下の先陣を切り、別子山村と合併しました。

今年、市政施行から80周年という記念すべき節目の年です。この大きな節目を迎えるにあたり、過去から現在・未来に向けて、一本の糸を作るように、新居浜の歴史に感謝しながら新たな新居浜を作る。また、世代を超え、時空を超え、新居浜に関わる全ての人がつながり、盛り上げていく

という思いを込め、「つむぐ つなぐ 来へ 人へ」をテーマに各種記念事業が実施されます。
なお、主な事業は、次のとおりです。

東京富士美術館コレクション—美の東西—

東京富士美術館が所蔵する西欧の17世紀から19世紀にわたる絵画の代表作、ならびにモネ、ルノワールをはじめ19世紀の印象派と20世紀を代表する作家の作品とともに、横山大観、竹内栖鳳ら、わが国の創造精神を特徴づける近現代の日本画作品計65点が4月29日から6月25日の間、あかがねミュージアムにおいて展示されました。

風と遊ぶ 榎木孝明水彩画展

俳優である榎木孝明氏は、水彩画家としても活躍されており、平成28年1月、ドラマ「百年の計、我にあり」で、主役であり、本市の別子銅山の支配人を務めた広瀬幸平役を演じられました。ドラマをきっかけに散策した新居浜市の風景、別子銅山近代化遺産や、新作や代表作による作品展が4月29日から6月25日の間、あかがねミュージアムにおいて開催されました。また、5月3日には、トークショーとサイン会も開催されました。

ジブリの動画家 近藤勝也展

新居浜市出身で観光大使にも任命され、スタジオジブリで「魔法の宅急便」、「崖の上のポニョ」や「コクリコ坂から」などの作画監督やキャラクターデザインを担当する実力派アニメーター近藤勝也氏の作品展が7月8日から9月10日の間、あかがねミュージアムで開催されます。

圧倒的な想像力と表現力によって描かれた原画やレイアウト、デザイン画など

500点の作品展示のほか、ワークショップ、ミュージアムコンサート、作品上映会(崖の上のポニョほか)なども予定されています。

あかがねミュージアム
00897(31)0305

新居浜ふるさと映画製作

80周年記念事業のテーマでもある、「つむぐ つなぐ」という想いを込め、新居浜市全体の一体感を持つことに加え、企業も含め新居浜に縁のある方々に関わってもらうことにより、チーム新居浜の実力をアピールすると共に、世界中へ新居浜市の魅力を伝える、さらには、観光産業分野等の発展も図るため、新居浜ふるさと映画が製作されます。

内容は、市内の観光名所・施設、四季折々の風景や太鼓祭りなどを盛り込んだ広く新居浜市をPRしたものと、愛媛県出身で、「瀬戸内海賊物語」などのメガホンをとった大森研一氏が監督を、同窓会報26号にも寄稿いただいた本校卒業生で小説家の福田栄一氏が、脚本を担当されます。
上映は、来年3月に新居浜を皮切りに、中国や大阪、東京などで予定されています。
問合せ 新居浜ふるさと映画実行委員会事務局 (あかがねミュージアム内)
00897(31)0305

太鼓祭り統一イベント

川西・川東・大生院地区の太鼓台は、10月15日に駅前をあかがねミュージアム周辺で、上部地区の太鼓台は、10月17日に山根グラウンドでそれぞれ統一寄せを開催する予定です。

問合せ 新居浜市運輸観光課
00897(65)1261

愛顔つなぐえひめ国体 いよいよ開催です

いよいよ、愛顔つなぐえひめ国体が、9月30日から10月10日の間、開催されます。愛媛県としては、昭和28年に四国4県で合同開催されて以来、64年ぶり、また、初の単独開催となるえひめ国体は、正式競技が37競技、公開競技が4競技、特別競技が1競技、デモンストレーションスポーツが23競技開催されます。

各競技にリオオリンピック出場選手をはじめ、全国から有数のトップアスリートが集う、国内最大のスポーツの祭典である国体ですが、新居浜市で開催される競技では、ウエイトリフティング競技の少年男子山口優人さん、成年男子権田達也さん、矢葺土さん。セーリング競技の国体ウインドサーフィン級(女子)小嶺恵美さんなどが、優勝候補として注目されているほか、数多くの選手の活躍が期待されています。

本校の生徒も、市内の競技に補助員として、活動する予定です。皆さんも、ぜひ会場に足を運び、愛媛県選手団の悲願である天皇杯獲得に向け、精一杯の応援を送りましょう。



昨年のリハーサル大会で優勝した権田達也選手

本誌だより

西高魂を信じて

～100周年記念事業進捗状況報告～

平成28年1月31日(日)新居浜西高校創立100周年記念事業期成会が発足した。その後、生徒や保護者、教員からの要望をまとめた記念事業承認申請書を3月2日に愛媛県へ提出した。しかし、寄附金による記念事業には様々な制約があり、約2か月ごとに指導を受け、再申請、再々申請をしながら承認されるのを待つことになった。

8月25日(木)やっと愛媛県の承認を得た。次は寄附金免税の手続きがある。新居浜税務署へ直行した。しかし、免税申請に必要な「寄附金受入証明書」交付が愛媛県では約3週間、免税申請から承認まで約2ヶ月かかることを知った。趣意書・領収書等の印刷、発送を含むと10月開始予定の募金活動は来年1月になってしまうことを覚悟した。

ところが11月上旬、募金活動はスタートした。同窓生パワー?が炸裂したのか。新居浜税務署、高松国税局の連携が見事であった。「寄附金受入証明書」が交付される間に、1回で高松国税局長に承認される申請書作成に多大な御指導・御協力をいただいた。もちろん1日数回学校と新居浜税務署の往復をしたが…。一方、期成会では畑田会長、今井総務委員長を中心に、趣意書・領収書の承認後すぐ印刷、発送する等準備が万全であった。

平成29年5月7日(日)現在、募金額合計が2,000万円を超え、妹尾記念碑・中庭整備委員長を中心に中庭が「記念モニュメントと憩いの空間」へと、変化すべく、まもなく工事が始まる。校旗・グランドピアノが購入される。募金目標額3,000万円達成を信じて、藤縄記念会館改修委員長を中心に記念会館をよりよく改修する準備、白石第2グラウンド整備委員長を中心に水捌けの良いグラウンドに生まれ変わる準備が行われている。また、日野記念祝賀委員長のもと、祝賀会の準備が進んでいる。

募金目標額まであと約1,000万円。企業からの寄附が、おおむね終了を迎える状況であることから、今後は同窓生の母校愛に頼る以外に目標額達成は困難と思われる。同窓生同士の連絡や繋がりを通して、この同窓会誌「樟樹」が発行される頃には、目標額の3,000万円にどこまで近づいているか。

「普段は普通だけど、やるときはやる。」西高魂を信じている今日この頃である。

100周年推進室長 鈴木一宏(同窓職員・昭58普)

平成29年度 事業計画(案)

月日	会合名	事業内容
3月22日	樟樹編集委員会	「樟樹」28号印刷所承認・概要相談
4月11日	会計監査	平成28年度会計帳簿類
4月11日	臨時常任理事会(4月)	同窓会が担当する期成会の募金活動について
4月17日	樟樹編集委員会	「樟樹」28号原稿依頼先および担当者決定
4月23日	第8回期成会常任理事会	創立100周年記念事業について
5月1日	第1回常任理事会	平成28年度事業報告 平成28年度会計決算報告 平成28年度会計監査報告 平成29年度役員承認 平成29年度事業計画案審議 平成29年度予算案審議 平成29年度総会・懇親会開催準備について 西高創立100周年記念事業期成会について その他
5月8日	樟樹編集委員会	原稿持寄り・ページ構成・レイアウト打合せ
5月15日	第1回理事会と同内容	第1回常任理事会と同内容
5月22日	臨時常任理事会(5月)	同窓会が担当する期成会の募金活動について
5月22日	樟樹編集委員会	前回分校正・第2次原稿持寄り
5月28日	第9回期成会常任理事会	創立100周年記念事業について
5月29日	樟樹編集委員会	校正
6月4日	東日本樟樹会総会・懇親会	本部から若干名出席予定
6月6日	樟樹編集委員会	最終校正
6月17日	西高祭支援	チャリティーバザー模擬店出店 西高どら焼き販売
6月20日	第2回常任理事会 臨時常任理事会(6月) (上記の会同時開催)	平成29年度総会・懇親会開催準備について 総会の議事内容・運営方法、会員券の販売 招待者、チラシ、ポスター等 西高創立100周年記念事業期成会について その他
6月24日	松山樟樹会総会・懇親会	本部から若干名出席予定
6月25日	第10回期成会常任理事会	創立100周年記念事業について
6月26日	第2回理事会	第2回常任理事会と同内容
7月8日	近畿くすのき会総会・懇親会	本部から若干名出席予定
7月15日		「樟樹」28号発行
7月18日	臨時常任理事会(7月)	同窓会が担当する期成会の募金活動について
7月23日	第11回期成会常任理事会	創立100周年記念事業について
8月5日	総会・懇親会	平成28年度事業報告 平成28年度会計決算報告 平成28年度会計監査報告 平成29年度役員承認 平成29年度事業計画案審議 平成29年度予算案審議 西高創立100周年記念事業期成会について その他
8月21日	臨時常任理事会(8月)	同窓会が担当する期成会の募金活動について
8月27日	第12回期成会常任理事会	創立100周年記念事業について
9月19日	臨時常任理事会(9月)	同窓会が担当する期成会の募金活動について
9月24日	第13回期成会常任理事会	創立100周年記念事業について
10月23日	臨時常任理事会(10月)	同窓会が担当する期成会の募金活動について
10月29日	第14回期成会常任理事会	創立100周年記念事業について
10月31日	創立100周年募金	募金活動終了(募集期間は平成28年11月1日から1年間)
11月10日	100周年記念式典・祝賀会	記念式典 記念講演 記念芸術鑑賞会
11月11日	100周年記念ゴルフコンペ	
1月下旬	第3回常任理事会	平成29年度の反省及び平成30年度の予定 同窓会入会記念品及び同窓会賞について その他
2月上旬	第3回理事会	第3回常任理事会と同内容
2月下旬	同窓会入会式	新会員へ入会記念品贈呈
3月1日	同窓会賞授与	卒業式にて授与(全日制 定時制 若干名) 昭和43年3月卒業会員(卒業後50年目)を招待

平成28年度 樟樹会一般会計収支決算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

	項目	28年度予算額	28年度決算額	備考
収入の部	前年度繰越金	2,279,658	2,279,658	
	入会金(全日制)	2,646,600	2,610,300	791人(延べ人数)
	入会金(定時制)	198,000	148,500	15人
	雑収入	10,000	1,036,485	預金利息・貯金利息・会員名簿販売
	運営会費	1,300,000	1,074,000	運営会費177件 1口 3,000円から 賛助会費 37件 1口 10,000円から
		収入合計	6,434,258	7,148,943
支出の部	会費	400,000	402,412	理事会・総会補助
	慶弔費	50,000	45,000	饗別・香典
	人件費	1,440,000	1,440,000	賃金
	事務費	50,000	120,007	
	同窓会賞	15,000	15,000	全日制 2名 定時制 1名
	入会祝	279,720	259,761	全日制 275名 定時制 20名
	支部への補助金	60,000	70,000	各支部総会 お祝い金
	旅費	120,000	120,000	各支部総会出席
	生徒への補助金	500,000	540,000	全国大会補助
	その他の事業費	100,000	151,329	高校野球広告料 50年目の卒業式経費
	通信費	200,000	277,668	電話代 切手・葉書代
雑費・予備費	200,000	270,774	運営会費徴収に関する費用他	
	次年度繰越金	3,019,538	3,436,992	
	支出合計	6,434,258	7,148,943	

平成29年度 総会および懇親会のご案内

日時 平成29年8月5日(土)
総会および懇親会

受付 17:00～
時間 18:00～21:00

場所 レイグラッツェふじ
新居浜市高木町3-2 TEL 0897-34-2211

チケット 3,000円(一般会員)
1,500円(平成22年以降卒業会員)

当日も受付けます。

ご要望に応じて、同期生・部活等の
テーブルをご用意します。

還暦を迎えて



全ての出会いに感謝！

はじめに

まだまだ若いつもりであった私は、この原稿依頼を受けて、『還暦』という二文字と初めて向き合った。

まずは、スマホでの検索。ウィキペディアでは、「還暦(かんれき)とは干支(十干十二支)が一巡し誕生年の干支に還ること。人の年齢について言う場合が多く数え年61歳(誕生年に60を加えた年)を指す。本卦還り(ほんげがえり)ともいう。」と記されている。そして、先輩たちの体験談。…と知的理解は進んだが、やはり実感が無い。誕生日を迎え60歳の声を聞けば、自覚が芽生えるのであろうか。きっと先輩たちも同じように歩んできた道なのだろうけれど、何だか受け入れがたい二文字である。

自分の38年間の教員生活を振り返ることで、第2のスタートラインに立てるのではと考えた。

教諭時代 パートI

昭和55年4月。松山市立潮見小学校で教員生活がスタートした。まだ学生気分も大阪弁も抜けきれない私に、教頭先生から、「愛媛に帰ってきたんだから愛媛の言葉を使え!」「新採だろうがベテランだろうが、子どもにとっては同じ先生なんだ」と喝を入れられたことを、今でも忘れてはいない。教師のイロハを叩き込んでもらった4年間であり、理想とする魅力的な先生に出会えた4年間であった。



教諭時代 パートII

新居浜での20年間。子どもたちに教えないで残っているのが、クラスの子どもたち全員と保護者26名と走った愛媛マラソン10キロロードレース。(今はもうありませんが)くじけそうになる友達をみんなで励まし合い支え合いながらトレランニングを続け、見事参加者全員が完走できた大会の完走証は未だに私の宝物となっている。私の無茶な願いを理解し、協力して下さった保護者の皆さんの存在がなければ、成し遂げることとは

岡野 弥生 (昭和51年卒業)

きなかったことは明白である。協力に感謝!感謝!である。

管理職時代

教頭に昇任して2年目の秋。今まで大きな病気も怪我也経験のない元気を何よりの自慢としてきた私に突きつけられた病気の宣告。医師の言葉を夢心地で聞いた私であったが、時が経つにつれ、死への恐怖に押しつぶされそうになる弱い自分との闘いが始まった。そんな私が、元気に職場復帰できているのは、大きな支えがあったからだ。家族はもちろんのこと、これまで共に悩み共に笑い合った大切な仲間たち、教え子や保護者の皆さん、地域の方々。本当に嬉しかった。勇気を与えてくれた。みんなの温かい励ましがあつたからこそ、大きな壁を乗り越えられたのだと感謝している。

それまでの私は、「もっと強くなってみんなを支えるんだ」とがむしやりに突き進んできたように思う。しかし、この試練は、「人は一人では生きられない」「周りの人の支えによって生かされている」「人の優しさの中で輝ける」ことを再確認させてくれた。

校長となつた私は、この経験を卒業間近の子どもたちに赤塚不二夫さんの言葉「あなたはあなたでいいのだ」と共に伝え続けている。私の想い

創立100周年記念グランドピアノお披露目演奏会 & 合唱部OB会コーラスコンサート

日時 平成29年8月12日(土) 午後2時開演
会場 音楽室(新居浜西高校 本館4階)
内容 本校卒業生によるヤマハC7Xのお披露目演奏会及び合唱部OB・在校生によるコーラスコンサート

入場無料

本校創立100周年記念事業により、音楽室に新しいグランドピアノが購入されます。つきましては上記のとおりお披露目のコンサートを開催いたします。あわせて合唱部OB会や在校生による楽しいコーラス演奏もごぞいます。この機会に新校舎の音楽教室もご覧ください。たくさんのお客生の皆様のお越しをお待ち申し上げます。



◆お問い合わせ先 0897-37-2735 (音楽担当 一色まで)

をどれほど理解してくれているのか分からないが、乗り越えられそうもない壁にぶつかったときに、一人でも思い出してくれれば本望である。終わりに
とりとめなく私の38年間を振り返ってきたが、今強く思うことは、『自分は周りの人の支えやがんばりで輝かせてもらっている』ということである。第2の人生をスタートするに当たり、今までたくさん宝物をもらってきた恩返しができれば…と考えている。そして、退職後もキラキラ愛顔(笑顔)輝く子どもを一人からでも増やしていけるような活動に関わってみたいと思っている。

東日本樟樹会

第9回東日本樟樹会総会・懇親会

東日本樟樹会の第9回総会と懇親会は、6月4日(日)東京都千代田区「アルカディア 私学会館」で開催されました。出席者は、

来賓として村上敏之校長、五味昭秀教頭、畑田雅敏樟樹会会長、近畿樟樹会から2名、ゲストスピーカーとして洋画家の永井吐無氏(1944年新居浜出身)をお招きし、総勢で71名になりました。昭和32年卒業から平成14年卒業まで幅広い年次の同窓生が出席し、御夫婦での参加もありました。

総会では井上会長の開会挨拶の後、来賓の村上校長から母校の現況の紹介があり、畑田樟樹会会長からは樟樹会の活動と創立百周年に向けての報告がありました。続いて幹事事務局から昨年度の収支報告があり、全会一致で承認されました。

ゲストスピーカーの永井吐無氏からは「東西巡礼地の旅ースペインサンチャゴへの道ー四国霊場八十八カ所」をテーマに、画家になるまでの経緯、ヨーロッパの巡礼地の後、四国の巡礼地を巡るお話をプロジェクトで

映し出される精緻な作品とともに楽しく拝聴しました。

懇親会では恒例の新居浜市に關するクイズ大会が催され、世代を超えて記憶をたどりながら、ふるさとの言葉が飛び交う中、楽しい時間を過ごしました。

今回は来年6月3日(日)に同じ会場の「アルカディア 市ヶ谷 私学会館」で第10回総会・懇親会を開催する予定です。

記 白石知己(昭和54年卒)



近畿くすのき会

第21回近畿くすのき会総会・懇親会

第21回近畿くすのき会総会は、昨年6月25日に大阪弁護士会館で開催され、70人を超える賑やかな会となりました。

総会は、村上会長の挨拶、続いて畑田樟樹会会長、佐々木校長からの祝辞の後、議事に移り、27年度の事業報告などの諸議案が原案通り承認されました。

第2部の講演会は、昭和52年卒の曾我浩さん(日本盛常務取締役)に『日本酒の魅力・こんなにある日本酒の効能! 魅力ある国酒を世界へ!』をテーマに、日本酒の製造工程やその効用、国酒として世界のマーケットへと夢を語っていただきました。

(要旨はHPに掲載)

懇親会では、村上会長の同級生の昭和41年卒の永易克典さん(前三菱東京UFJ銀行頭取)、昭和39年卒の真鍋克次郎さん(医療法人社団医聖会会長)から経済や医療に関する興味深いお話もあり、あちこちのテーブルで同級生の輪も広がりました。また昨年同様、講演いただいた日本盛の曾我さん提供の美味しいお酒と宮

本潤子さんの軽快な司会により、抽選会を中心に笑いの絶えない楽しい時間を過ごしました。

第22回総会(平成29年7月8日)は、西高100周年、近畿くすのき会30周年を「今年こそ100人」でお祝いできるよう準備を進めています。

記 原田順子(昭和49年卒)



編集委員会からお知らせ

本誌広告募集

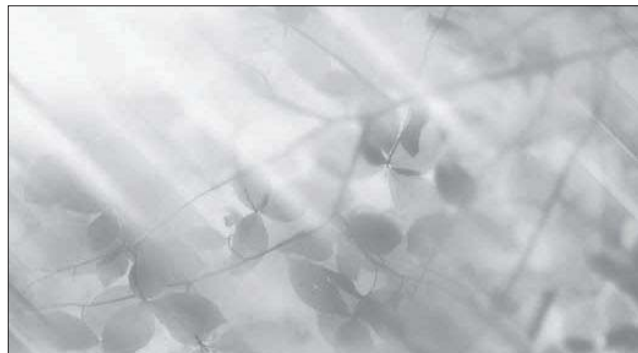
大きさ:名刺大(8.7×4.9cm)

掲載料:会員は格安 問合せ:事務局

各種会合(同期会・支部会・職場会等)

開催告知 および 開催報告 原稿募集

締め切り:上記いずれも 毎年、4月末



同期会 陣り

昭和44年卒業生同期会
祭りにもんてこんかいや

菅 伸明(昭和44年卒)

正月とお盆の3年半に一度の入れ替わりで行ってきたわが同期会。前期高齢者の仲間入りを果たし、時間にもゆとりが生まれたであろう今回(第11回)は、初めて新居浜太鼓祭りの日に開催してみようという運びとなった。新居浜を離れて、久しく帰郷せず、あの勇壮華麗な祭りを懐かしく思う友人たちにも来てもらおうと、「祭りにもんてこんかいや」をコンセプトとして、広く呼びかけた。結果、48年ぶりに帰ってきたという人を筆頭に、計56名が参集。

集合写真撮影、近藤博司同期会代表の挨拶に続き、一番遠く(茨



城県)からやって来た今井庸二君の発声による乾杯、そして寺岡政晴・玉井保男両先生のスピーチと流れるように会は進行していった。かつてのマドンナに胸を高鳴らせる者、約半世紀ぶりの再会に盃を交わし合う者、明日の太鼓台の運行時間や場所を確認する者、互いの出た腹を指さして笑いあう者など、時の流れを感じつつも、一瞬であの懐かしい高校時代にタイムスリップしてしまつたようだった。

やがて、テーブルごとにマイクを回し、近況報告へと会は続く。かわい孫の話、体重や頭部の変化、趣味や今後の目標、そして病気の話など。笑いがこみあげたり、拍手が沸き起こったり、しんみりと聞き入ったり：時間はあつという間に過ぎていった。中でも、畑田同窓会長の100周年にかけける熱い語りには、みな胸を打たれたのではあるまいか。

2年半後の平成31年には、50年目の卒業式を母校体育館で迎える予定とのこと。それまでみんな元気で！また再会しようじゃないか！

平成20年卒業生

同期会の開催報告

幹事 田窪祐二郎 神野 翔

平成29年1月2日(月)、レイイグラツツエふじにて、平成20年卒業生同期会を開催いたしました。

前回開催の平成22年成人式の時から、実に7年ぶりの開催となりました。

久しぶりの同期会は、久々に同級生と会えた喜びと、ひっきりなしに出てくる思い出話で、会場は終始盛り上がりました。当日は、国内外各地より同期生54名、恩師6名、計60名の出席を頂きました。

幹事会では、少しでも感動のある再会の場を創ろうと半年前から打ち合わせを開始し、特に2ヶ月前からは準備に多くの時間を費やしました。それだけに、皆が楽しんでくれている様子を見ると、大変嬉しく思いました。

会では、当手を振り返るオリジナルムービーを上映、またお土産に同期会仕様の西高どら焼きを用意、喜んでもらえました。

また、同期会のプール金、および今回の同期会の余剰金を足した約19万円を、創立100周年記念事業募金に同期会一同として寄付することも決定しました。ぜひ、母校のために活用してほしいと願っています。

これから結婚、子育てをしていく同期が少しずつ増えてくると思います。そんな時期を前に、一度集まることができ、大変意義深い時間となりました。また集まりましょう！



編集後記

ちやぶ台返し連発のトランプ新大統領。たび重なる北朝鮮によるミサイル発射。日本海には2隻の米空母が集結するなど、周辺はきな臭い状況ですが、何事もなく平和であつて欲しいものです。

さて、11月10日はいよいよ100周年記念式典です。すでに5月27日・28日の記念招待試合など、記念行事は始まつております。(7P)

畑田樟樹会会長(100周年記念期成会会長)のもとと念に着々と準備が進んでおります。有意義かつ盛大で晴れやかなものになることでしょう。

同窓会会員の皆様にも参加できる行事が多数あります。是非ご参加を。

(6月3日記 ひろ)

委員長	近藤 博司(昭44普)	安藤 寛和(昭58普)
委員	世良 賢克(昭26普)	織田 文生(昭60普)
	武田 信之(昭28普)	藤澤 真美(昭63普)
	近藤 司(昭42普)	越智 孝司(平2普)
	畑田 雅敏(昭44普)	日野 愛子(平12普)
	伏見 紀子(昭44普)	吉村 新平(平15普)
	石川美千子(昭47普)	鈴木 雅大(平16普)
	鴉 裕子(昭49普)	

表紙撮影：大久保直幸氏(昭和44年卒) 大久保フオトス



樟樹会 新居浜西高等学校同窓会

ホームページ <http://kusunoki2014.sakura.ne.jp>
E-mail kusunoki@topaz.ocn.ne.jp